

# ロマンティック・Jブラームス (7) ブラームス 2つのピアノ四重奏曲

—— 第3番 ウェルテル、第1番 ジブシー風 ——

*Brahms Two Piano Quartets No. 3 Werther , No. 1 alla zingarese*

- プレトーク / ブラームスのピアノカルテットについて
- ブラームス / ピアノ四重奏曲 第3番 ハ短調 Op.60 “Werther”
- ブラームス / ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 Op.25

Vn 青木 調 (JBS会員 NHK交響楽団員)  
Va 佐々木 亮 (ゲスト NHK交響楽団員 ヴィオラ首席)  
Vc 林 峰男 (JBS音楽監督 国際スキュード音楽院教授)  
Pf 島田 彩乃 (ゲスト新人 桐朋女子高校首席卒。パリ国立高等音楽院卒、研究課程修了後  
パリ・エコール・ノルマル音楽院、ライプツィヒ音楽演劇大学にて研鑽を積む)

監修/プレトーク 西原 稔 (JBS顧問 桐朋学園大学教授)



青木 調  
© 篠原栄治



佐々木 亮



林峰男



島田彩乃



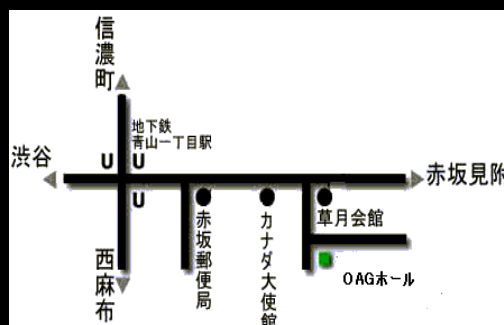
西原稔

## 2012年12月16日(日) 2 p m

会場 青山ドイツ文化会館OAGホール

チケット 全自由 一般¥4000 学生¥2500

後援 ドイツ連邦共和国大使館  
ドイツ・ハンブルク国際ブラームス協会  
アメリカブラームス協会 (ABS)  
東京文化会館TS チケットサービス  
チケット お問合せ 日本ブラームス協会 Tel/Fax 03-3990-0611  
HP <http://www3.ocn.ne.jp/~jbs>



**●青木調 (V n) Aoki Shirabe JBS会員**

名古屋と静岡にて、佐々木はるる、石田なをみ、矢口由美子、近藤フミ子の各氏に師事。1985年全日本学生音楽コンクール名古屋大会第1位。その後東京に移り、桐朋女子高等学校音楽科を経て、同大学ソリストディプロマコース修了。2004年桐朋学園大学院大学修了。この間、堀正文、原田幸一郎、藤原浜雄の各氏に師事。1992年日本音楽コンクール第2位、併せて黒柳賞受賞。1995年日本国際音楽コンクール第2位。1996年文化庁助成による日演連主催のリサイタルを行う。以後東京、名古屋、オランダ、ドイツなどにリサイタルを行う他、NHK・FMリサイタルに出演。2008年2010年に日本学生音楽コンクール東京大会の審査員を務める。2005年10月よりNHK交響楽団ヴァイオリン奏者。日本ブラームス協会例会には1996年より数多く出演している。

**●佐々木亮 (V a) Sasaki Ryo ゲスト**

東京芸術大学付属音楽高等学校を経て東京芸術大学卒業。在学中、安宅賞受賞。芸大オーケストラと共演。1989年日本音楽コンクール入選、東京文化会館新人演奏会出演。1991年現音室内楽コンクール第1位、「朝日現音賞」受賞。1992年東京国際室内楽コンクール(民音)第2位、「ルフトハンザ賞」受賞。1992年秋より、ニューヨーク、ジュリアード音楽院に奨学生として入学。1993年より2001年までアスペン音楽祭、1998年から2000年までマルボロ音楽祭に参加。Musicians from Marlboro Tourのメンバーに3年連続で選ばれ全米各地にて演奏。2000年にはマルボロ音楽祭50周年記念コンサートに出演。ジュリアード音楽院卒業後、ソロ、室内楽奏者として全米各地にて活動。これまでに内田光子、ヒラリー・ハーン、ナージャ・サレルノ・ソネンバーグ、リン・ハレル等と共演し、好評を博す。CDはEMI/Angelよりチャイコフスキー弦楽六重奏、ブラームス弦楽6重奏をリリース。2003年帰国。2004年NHK交響楽団入団。2008年より首席奏者。アポロ弦楽四重奏団、室内オーケストラ「アルクス」、東京クライスアンサンブル、岡山潔弦楽四重奏団メンバー。桐朋学園大学、洗足学園音楽大学などで後進の指導にも当たっている。

**●林峰男 (V c) Hayashi Mineo JBS音楽監督**

東京芸大付属高校、桐朋学園を経て、ジュネーブ音楽院を首席で卒業。斎藤秀雄氏に師事する。ベオグラード国際チェロコンクールで第1位。ローザンヌを本拠にしながら、ヨーロッパ、アメリカ、日本で演奏会を開く。この間モントール音楽院、ローザンヌ音楽院の教授を歴任。1995年のデビュー20周年演奏会をカザルスホールで4日間連続開催し、P園田高弘氏と共演するなど高く評価される。また2005年デビュー30周年演奏会はVn加藤知子、P伊藤恵と「シオスタコーピッチ没後30周年記念演奏会」を各地で開催しNHK-BSで放映される。日本ブラームス協会では1995年より音楽監督として「室内楽シリーズ」で若手育成のため積極的に共演し、1997年ブラームス没後100年記念を東京文化会館小ホールで、1998年協会25周年を津田ホールで、2003年の協会30周年では大阪フェニックスホール、東京第一生命ホールと初の東西公演に貢献する。現在国際スズキメソード音楽院教授として後進の指導にもあたっている。

**●島田彩乃 (P f) Shimada Ayano ゲスト新人**

桐朋女子高等学校音楽科を首席で卒業。その後、パリ国立高等音楽院、同研究課程、エコールノマル音楽院修了。文化庁海外留学制度研修員としてライプツィヒ音楽大学にて研鑽を積む。全日本学生音楽コンクール小学校の部第2位入賞、ジャン・フランセ国際音楽コンクール第1位など、国内外数々のコンクールにて優勝、入賞。パリ在住時より、ヨーロッパ各国および日本、また南アフリカ、チュニジアにおいてもフェスティバルにたびたび招かれ、リサイタルやオーケストラとの共演、室内楽演奏会、TV、ラジオ出演など、多岐に亘った活動を活発に行う。CD『ドビュッシー／デュティユー／ラヴェル』をリリース。デュティユー氏本人より賛辞が贈られたほか、各誌にて高い評価を得る。13年間の欧州活動を経て2011年帰国。上野学園大学非常勤講師を務めるとともに国内外にて精力的に演奏活動を展開している。故福岡幸子、須田眞美子、ジャン＝フランソワ・エッセール、アキレス・デル＝ヴィーニュ、ジャン＝クロード・ベヌティエ、ゲラルト・ファウツの各氏に師事。

**●西原稔 (お話し) Nishihara Minoru JBS顧問**

東京芸術大学同大学院音楽研究科博士課程満期退学。現在桐朋学園大学教授、学部長。19世紀音楽と音楽社会史を専門とする。著書は「音楽の社会史」(音楽之友社)、「聖なるイメージの音楽」(音楽之友社)、「ピアノの誕生」(講談社)、「<楽聖>ベートーヴェンの誕生」(平凡社)、「音楽史ほんとうの話」(音楽の友社)、「ブラームス」(音楽の友社)。その他翻訳、監修など。ブラームス研究と並んで、シューマンのピアノ作品の成立史を研究、その研究成果は出版が予定されている。日本ブラームス協会では顧問として企画運営のアドバイスをするとともに「レクチャー&コンサート」を担当して、その研究成果を年会誌「赤いはりねずみ」に発表している。